



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA
内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2014~2015年度 主題 ==

国際会長【Talk Less, Do more : 言葉より行動を】Isaac Palathinkal (インド)
アジア地域会長【Start Future Now : 未来を始めよう。今すぐに】岡野泰和 (大阪市佐堀)
東日本区理事【With Pride and Pleasure : 誇りと喜びを持って】田中博之 (東京)
北東部部長【「一体となって一歩前に」一楽しく、楽しく、楽しくー】大久保知宏 (宇都宮)
クラブ会長【心一つに一丸となって、ともに歩む仲間を増やそう!】南澤一右 (仙台青葉城)

VOL. 383

2015年06月

強調月間:「評価」

<今月の聖句>

あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているから、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。
(ヨハネによる福音書第5章39)

「今年度を終えるにあたって」

2014-15年度 会長 南澤 一右

昨年度、初めて会長を仰せつかり、今年度引続き会長を務めさせていただきましたが、早いもので、今月で二年目の任期満了を迎えます。

この二年間、クラブメンバーの皆様には、多大なるご指導・ご支援を頂きました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

昨年度、一年目の会長を務めさせていただいた際は、本当にあっという間に一年が過ぎたことを思い起こします。右も左も分からず、会長としての役目を果たす余裕もなく、事ある毎に皆様のお世話になっておりました。

今年度は、二年目の会長ということもあり、本人的には、一年目よりは、しっかりと会長職を務められると思ってスタートしたつもりでしたが、これもなかなか大変な一年でした。

一年目同様、メンバー全員の協力の下、何とか二年目を終えることが出来ました。改めて、メンバーの皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の会長主題「心一つに一丸となって、ともに歩む仲間を増やそう!」を振り返ってみます



と、残念ながら新しいメンバーを迎え入れるまでにはいきませんでした。

ただ、ゲストを迎えて楽しい例会のプログラムとしてチャール料理対決やプロレス参戦記&技体験、6月例会では、佐藤英士先生から「歯の健康は人生を変える」という題で講演会を開催できたことは大変喜ばしいことでした。

来期は菊地次期会長にバトンをお渡ししますが、2020年は東京オリンピック開催の年でもあります。創立40周年に向けて大きくクラブが飛躍できるように、次期会長を中心にメンバーが一丸となり自分の役割は何かを理解したうえで、目標に向かって、クラブ活動を進めていけたらと考えております。

本当に感謝・感謝の二年間でした。

ありがとうございました。

5月例会				B F		スマイル	
会員数	14名	メネット	3名	切手	0 kg	今月	12,000円
出席者	10名	ゲスト	1名	現金	10,000円	累計	138,314円
Make-Up	1名	出席率	78%	累計	10,000円	ファンド	131,314円

会長 南澤 一右
 副会長 遠藤 勝志
 書記 車塚 潤
 会計 菊地 弘生
 直前会長 南澤 一右
 メネ会長 加藤 真子
 担当主事 青木 絵美

5月第一例会報告

日時 2015年5月21日(木) 18:45~20:45
場所 YMC A会議室 203
出席者 青木(絵)、池田、加藤、金原、菊地、車塚
佐藤(あ)、清水、涌澤、南澤
<メネット> 池田、加藤、金原
<ゲスト> 齊藤勉氏(YMC A支援対策室)

(1) 今月の例会は、本年3月まで盛岡YMC A宮古ボランティアセンターの所長として支援活動を勤められた健康教育事業部齊藤勉氏をゲストスピーカーに招き「宮古での取り組みと今後の課題について」と題してお話を伺った。4年間の活動状況をパワーポイントを使って説明された概要は以下の通りです。

- ①2011/3~ 教会に支援物資が届きその仕分け作業と仮設への援助活動を始める。
- ②2012/4~2013/3 子供の育成事業、教会、住宅の補修工事や中井貴恵氏をお招きし、「大人と子供のための読み聞かせ」の講演をプロデュース。
- ③2012/7~ オープンハウス完成 いかせんべい「スガタ」の協力を得て、秋祭りを実施した。
- ④2013/3~ 宮古小学校より通学路(交差点)の交通指導を震災時から続けてきたことに対し感謝状が届いた。



- ⑤2013年度は、地域の方の協力で高校生ボランティア募集を行い、また、3年間続いた小学生プログラムが根付き、水辺のプログラム(カヤック、水泳教室)で、こどもの運動不足の解消に努めた。
- ⑥2014/2~大雪となり仮設住宅の除雪ボランティアに従事する。いままでが教会のみなさんと共に歩んだ活動記録です
- ⑦2014/4~11 地元との交流会、子どもたちの活動(ハイキング、カヤック、川遊び、野外活動)などをサポートした。また、仮設住宅支援の協力団体は、次の通りです、いわてマリフィールド、東京YMC A、大阪YMC A、山の会。
- ⑧2015/11 から公営住宅が完成し、そこに移り住むことになるので、住みよい街づくりのお手伝いが出来たらと思っています。齋藤さんお疲れさまでした。

(2) その他報告

3クラブ実行委員会、仙台YMC A、YMC A110周年記念、絵本発送作業(6/20)の日程、アピール等が各自担当者より報告された。 以上

6月第二例会報告

日時 2015年6月4日(木) 18:45~20:45
場所 仙台YMC A会議室 203
出席者 青木(絵)、尾木、加藤、金原、佐藤(あ)、
清水 <メネット> 加藤、金原
開会点鐘・会長挨拶 会長 南澤 一右
議事 司会 金原 譲

1. 6月第一例会の確認(6月18日)
ゲストスピーカー: 佐藤英士デンタル院長
「歯の健康は人生を変える」
ゲスト参加費として弁当代500円を徴収
2. ロースターの校正について
3. 東日本区厚木大会最終確認
東京北クラブとのDBC交流会をフェローシップアワーで開催
4. YMC Aバザー最終確認
5. 3クラブ実行委員会からの報告(菊地)
・金沢八景クラブ7名(5月23~25日)
・荻浜、名振津波石設置計画
・次回実行委員会 6月10日
6. YMC Aからのお知らせ
・ネパール緊急街頭募金の実施(5月24日)
・YMC Aバザーへの確認(6月14日)
7. その他
・例会終了後、厚木大会で出店する「東日本被災地支援・石巻新クラブ設立支援」の物品の積み込み作業を実施した。

閉会点鐘 会長 南澤 一右

2015年7月キックオフ例会

年次総会のお知らせ

日時 2015年7月16日(木曜日)
午後6時45分~8時45分
場所 仙台YMC A203
議案 (イ) 2014-15事業報告
(ロ) 2014-15決算報告
(ハ) 2015-16事業計画
(ニ) 2015-16予算(案)
お願い 後日、メンバーへは、委任状をEメールまたはFAXにて送付しますので、欠席する方のみこの委任状を7月13日(月)・菊地までご返事ください。(FAX: 022-292-2350
Eメール: k-1@crocus.ocn.ne.jp)

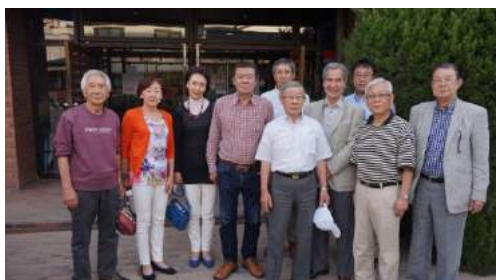
▼JR 仙石線 4年2カ月ぶりに開通

東日本大震災以降、休止となっていた高城町（宮城県松島町）～陸前小野（東松島市）間の10.5キロで運行が再開され、4月30日、4年2カ月ぶりにあおば通～石巻間（49.0キロ）の全線がつながりました。合わせて東北線を経由して仙台～石巻間（47.2キロ）を最短52分で結ぶ仙石東北ラインも開業し、被災地間を結ぶ輸送力や石巻方面への交通の利便性が一段と高まり復興の加速が期待されます。



▼金沢八景クラブ被災地を訪問

金沢八景YMC Aと金沢八景ワイズメンズクラブ（田中徹郎会長）は、震災発生直後より毎年実施されている被災地への4回目の訪問がありました。一行8名は5月23日来仙、仙台YMC A支援対策室で被災地の復興状況を村井総主事よりヒアリング、その後、仙台3クラブ有志と1年ぶりの交流の時を持ちました。翌日は、大川小学校～雄勝町～女川町～鮎川～東松島市を経由して松島にて宿泊、翌日、塩釜市に立ち寄られ帰横されました。



▼石巻市荻浜地区と名振地区に「津波の教え石プロジェクト」がスタート

（1）荻浜地区は高台造成地に建設要望

6月3日（水）、東京むかでクラブ城井ワイズと神保ワイズが来仙、村井総主事と清水が同行して荻浜支所にて関係者への挨拶と第1回目の打ち合わせ会をもった。（先方：木村荻浜支所長、門岡副支所長）

・荻浜地区には12行政区があり今回の大震災では24名が死亡、70%の家屋が流出し、高台に移転する計画が進んでいる。

・今回の石碑は、支所や公民館が建設される高台に設置したい。造成工事は地権者（1名）の了解を取ったうえ、今年の11月上旬着工、2016年3月末～6月迄に造成完了予定（↓写真）である。津波教え石の設置は造成工事完了を待って実施する。

・6月26日の行政区定例会の結果を待って、住民側と協議の場を設けることになった



（2）名振地区は新しい場所に変更

6月3日午後、高橋会長以下役員7名と予定地を視察後、婦人会の2名も参加して公民館において打ち合わせ会が持たれた。（↓写真）



以前の計画地は、竹藪が多く、津波の教え石の設置場所としては不適であるとの結論に達し、現在、高台に建設中の復興住宅団地内の公園用地（史跡公園）に設置することができる認可が市よりあった。今後、住民の総意により具体的な計画を進めることになった。（↓写真）



＜今後のスケジュールと検討課題＞

津波の教え石に入れる言葉を1～1.5か月をかけて住民側より提供してもらおう。企画設計は城井氏のところで早速準備に取り掛かる。この計画には、ミサワホーム、YMC A、ワイズの支援を受けて進め、年内中の完成を目途に計画を進めることに基本的に合意した。

第18回東日本区大会報告

「ここから未来へ」への大会テーマのもとに、人口22万5千人、国のロボット産業特区に指定されている神奈川県厚木市において、6月6日～7日の2日間、第18回東日本区大会が開催された。大会参加者数は432名、当クラブからは、菊地・涌澤・加藤・清水の4ワイズと加藤・金原メネットの2名、そして設立準備中の石巻広域クラブより日野さん、末永さん、石巻支援センターの伊藤さんの3名が参加した。それぞれが車と新幹線で厚木市に到着、2日間のプログラムに参加、大勢のメンバーと交流した。



▼6月5日(金): 第4回区役員会、理事杯ゴルフ大会、前夜祭

区役員会には、涌澤会員増強事業主任、加藤メネット委員長がゴルフ大会には菊地さん、前夜祭には菊地、涌澤、清水の3ワイズが参加した。(ゴルフ大会と前夜祭の報告は後掲)

▼6月6日(土): 年次代議員会、メネットアワー、バナーセレモニー、開会式、東日本区アワー、分科会、晩餐会、フェローシップアワー

先発隊は9時前に会場の厚木市文化会館に到着、他の出店者と共に被災地支援物産店コーナーを開設。石巻地方で調達した、缶詰、無農薬米、海産物、銘酒日高見、ブレンドコーヒー、おのくん人形などを陳列し、横断幕も掲示して参加者にアピールした



オープンセレモニーは、地元小学生による勇壮な白竜太鼓の演奏後、いよいよバナーセレモニーで菊地次期会長が堂々の入場行進、田中理事と固く握手した。理事の開会宣言・点鐘に続いて石井大会実行委員長、来賓の挨拶があった。東日本区アワーIでは、涌澤事業主任、加藤メネット委員長の一年間の活動報告があった。その中で石巻広域新クラブの準備状況が取り上げられ、出席していた、日野峻さんと末永博さんの紹介が万雷の拍手をもって行われた。

記念講演は、神奈川県工科大学先進技術研究所所長

の山本圭治郎教授による講演、題は「ロボットのチカラ」でステージに本物の等身大のロボットを展示して行われた。ユニークな講演に終了後は舞台上に参加者も登壇してロボットとの触れ合いを愉しんだ。その後は、4か所に分かれて分科会、私たちは涌澤事業主任が主宰したEMC分科会「EMCの絶えざる課題を議論する、課題は克服できるのか！」に出席した。(分科会報告は後掲)

晩餐会は会場をレンブランドホテルに移して行われた。予想を上回る参加者数で会場は熱気に溢れ、地元の美味しい料理と提供された石巻の銘酒「日高見」はお魚料理に合う日本酒として人気の的だった。また石巻広域新クラブ設立のためのアピールが日野さん、末永さんとともに関係者が登壇して紹介され注目をあびた。(↓写真)



晩餐終了後は、東京北クラブとのDBC交流会がフェローシップアワーの中で行われ一年ぶりの旧交を温めた。

▼6月7日(日) 聖日礼拝、東日本区アワーII、閉会式、エクスカージョン

東日本区アワーIIでは表彰式から始まり8事業、47部門の表彰が行われた。それぞれの部門責任者より受賞者が発表され、理事よりアワードを受け取った。当クラブは、DBC交流優秀賞など7部門を、なお、理事表彰の優秀クラブ賞には東京八王子クラブと大会ホストの厚木クラブが受賞した。

2014-2015年度当クラブ受賞一覧

- ①環境キャンペーン優秀賞(93%)
- ②CS 献金達成賞 ③ASF 献金達成賞
- ④EMC ノンドロップ賞 ⑤YES 献金達成賞
- ⑥DBC 交流優秀賞 ⑦ロースター広告協力賞



表彰式の後、青木元国際会長の司式で田中現理事(東京クラブ)より渡辺次期理事(甲府クラブ)への引き継ぎ式と次期役員の紹介と次期理事の力強い所信表明があった。

閉会式において、素晴らしい大会をホストしていただいた厚木クラブ堀田会長の感謝の挨拶と長野クラブへの大会旗の引き継ぎ式が行われ、2日間の大会は余韻が残るなか田中理事の閉会点鐘で幕を閉じました。



<ゴルフコンペと前夜祭に参加して>

次期クラブ会長 菊地 弘生

6月4日午後2時30分に仙台を出る。東北自動車道→圏央道、約400kmの道のりで、午後8時40分頃チェックインした。翌日、現地に向かうべく6時20分に出発し、何と20分ぐらいで現地に到着した。会場の中津川CCは、7時から受付ということで、20分程度散策しながら受付時間を待った。

私は3組目で藤井さんと茅野さんの3人で回った。

前夜祭では、見慣れたメンバーがいつものように和気藹藹と開会前から酒を酌み交わし、始まるのを待っているようだった。私もその中に溶け込んでお酒を酌み交わしながら歓談を楽しんだ。

歌手として舞台に立った横浜つかクラブの南部さん「30年の二股人生：保険セールスと歌手」の漫談をまぜた自作した演歌（盛春の応援歌等）を披露され前夜祭に相応しい楽しいひと時をメンバーと共に過ごすことが出来ました。厚木クラブのみなさんに感謝を申し上げます。

<会員増強事業 分科会報告>

会員増強事業主任 涌澤博

事業主任就任時の目標に、「EMC シンポジウムのような事を行う」と謳っていた事ができる、最後のチャンスととらえ構想を練って来ました。主題には、『EMCの絶えざる課題を議論する』と掲げ分科会を開催いたしました。これからの事に重点を置き、東京ベイサイドクラブ設立準備委員長を務めていただいた、金丸満雄さん。石巻広域クラブ設立準備委員の清水弘一さん。「宮古クラブ設立に向けて」と題してもりおかクラブ長岡正彦さん。最後に次期会員増強主任池田直文さんの4人のメンバーに講演をお願いしました。初めに金丸さんからは、ベイサイドクラブ設立までの苦労話や、これから作ろうとしているクラブに対しいろいろなアドバイスをいただきました。中でも設立まで3年以上かかり人集めが大変だった事や、クラブ作りマニュアルなどが存在していながら、しばらく知らなかった事などお話しいただきました。次に石巻新クラブ設立に向けてと題し、清水さんからお話をいただきました。震災発生から石巻支援センター設立、そして多くのボ

ランティアが支援センターを通じ活動に関わってきた経緯を始めにお話しいただきました。その中でも最終的に石巻支援センターが引き上げてそれでおしまい・・・となれば、これまで多くのボランティアに対し申し訳ない。これからはワイズが恩返しをしなければいけない、という言葉が胸に焼きつきました。

もりおかクラブの長岡さんからは、宮古ボランティアセンターを通じ宮古地区でのYMCAの働きを紹介していただき、宮古ボランティアセンターが活動を始めた当初は、YMCAと云う聞いた事が無いよそ者でしたが地道な活動が徐々に知られ、今ではYMCAが宮古地区にとって必要な存在となっている事をお聞きしました。

最後に池田次期事業主任からは、主題：「未来のために」の思いを述べていただき、活動方針、目標値を掲げていただきました。私も来期EMCの委員として今期の経験を基に池田事業主任と共に引き続き活動して行きたいと思っております。



写真左寄り金丸さん、清水さん、長岡さん、池田さん

クラブ・今後のスケジュール

- 7月02日(木) 仙台青葉城第2例会および前年度感謝会(シェルブール)
- 7月04日(土) (仮)石巻広域クラブ設立準備委員会(YMCA石巻センター)
- 7月16日(木) 仙台青葉城クラブ例会(總會)
- 7月31日(金) 第26回アジア地域大会(京都)
- ~8月2日(日) (ウエスティン都ホテル)
- 8月06日(木) 仙台3クラブ合同例会&joan次期国際会長来仙歓迎会
- 9月05日(土) 北東部部会

7月第2例会&前年度慰労会

日時 2015年7月2日(木) 18時30分~

場所 スマイルホテル仙台国分町

シェルブール 022-261-7733

その他 役員会 18:30 慰労会 19:15

*出欠は、ご欠席者のみ加藤ドライバーまでお願い申し上げます。

(仮) 石巻広域・新クラブ設立準備報告

▼6月5・6日と厚木市で行われた第18回東日本区大会に日野峻さん、末永博さん、伊藤剛士さんの3名が参加、被災地支援物産販売コーナーでは仙台3クラブの参加メンバーとともに声を張り上げて頑張っておりました。

▼上記大会中、石巻広域新クラブの設立準備状況を晩餐会などで参加者に大いにアピールすることができました。

▼前夜祭・晩餐会の席上、平井設立準備委員長から寄贈された「日高見」が参加者に振舞われ、魚料理にあう被災地石巻産の銘酒として紹介されました。

▼次回設立準備委員会の開催について (案内)

- ・日時：2015年7月4日(土) 17時～19時
- ・場所：YMCA石巻支援センター
- ・議事：① 前回記録確認
- ② 東日本区(厚木)大会参加者報告
- ③ 被災地復興・石巻新クラブ支援物産販売収支報告
- ④ 新クラブ設立に向けて(チャーターメンバーの募集状況など)
- ⑤ その他(意見交換など)



東日本区ニュース 第12号 (抜粋)

▼東日本区理事メッセージ (理事:田中博之)

主題:「誇りと喜びを持って」

多くの方のお支え、励ましをいただき、誇りと喜びをもって1年間、東日本区理事の務めを果たすことができましたことに感謝申し上げます。今期、私自身が心がけることとして、「選択と集中」、「伝統と革新」そして「PDCA」を掲げ、東日本区の皆さまにもお奨めして参りました。このことが各クラブ、各部の活性化の一助になったとしたら幸いです。

東日本区としては、この1年間で、計画どおりできたこともあります。一方で不十分だった取り組みもあります。できなかったことはその原因を究め、さらには取り組みが望まれることは、次期にバトンを渡すとともに、トロイカの一員として最大限サポートして参りたいと思います。

東京ベイサイドクラブのチャーターナイトで国際協会加盟認証状をお渡しすることができたこと、多くのクラブの入会式に立ち会うことができたことは理事として大きな喜びでありました。しかし、年度末で2つのクラブが解散となり、また、各クラブでの退会予定者も報告されています。理事として、東日本区としてもっとサポートできなかったか残念でなりません。

ん。解散、退会には必ず原因と予兆があります。各部での、各クラブでの会員維持、そして新入会、新クラブ設立へのお取り組みを強めていただくように切にお願いいたします。

今月は「評価」の強調月間です。この1年間の皆さんの取り組みを振り返っていただき、次期に引き継がれ、豊かな実りに繋がることをお祈りいたします。(理事:田中博之)



仙台YMCAニュース

(1) 110周年記念式典

5月30日、仙台YMCA創立110周年記念式典が、多くのご来賓、会員のみなさまの列席を賜り行われました。仙台YMCA創立101年から110年までの軌跡をまとめたDVD上映が行われ、前半は東日本大震災の支援活動について、後半は仙台YMCAの各事業の紹介がされました。様々な活動を、スタッフ、役員、ワイズメン、メンバーが一つとなって積み重ね、作り上げてきた軌跡がその中に記されていました。その後、ご来賓を代表して、日本YMCA同盟の島田茂総主事、バンコクYMCAのMs. Suwan 総主事から、仙台YMCAの長きにわたる活動の感謝と、これからの活躍を祈念したメッセージを賜りました。また、仙台3つのワイズメンズクラブよりビデオカメラの記念品を贈呈いただきました。

みなさまのお支えがあり、110周年を迎えることができました。今後も仙台YMCAの使命を果たすべく事業を行ってまいります。変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

(2) 仙台YMCAバザーのお礼

6月14日(日)に仙台YMCAバザーを実施いたしました。当日、暑い中ご参加いただきましたみなさま、並びに、寄贈等ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。収益金に関しては確定次第ご報告しますが、90万円を上回る見込みです。

(3) 夏季ユースリーダー委嘱状授与式のお知らせ

2015年度「夏季ユースリーダー委嘱状授与式」を以下の通り実施いたします。ご多忙中とは存じますが、ぜひご参加いただき、ユースリーダー達への励ましをいただければ幸いです。

日時 2015年7月10日(金) 18:45～20:30

場所 仙台YMCAホール

費用 1,000円

編集後記

2014-2015年度もまもなく新年度に移行しようとしています。ブリテンを通してワイズの活動を一人でも多くの人に知っていただきたい。そんな会報を目指して次年度もがんばります。(弘)